

Ⅶ 報告 「王子公園再整備基本方針（素案）」にかかる市民意見募集結果の概要について

1 市民意見募集結果の概要

(1) 意見募集の期間：令和3年12月10日（金）～令和4年1月17日（月）

(2) 提出された意見：1,456通（5,632件）

(3) 主な意見要旨

①基本方針（素案）について

ア 再整備全体について【359件】

- ・大学誘致や新たな施設のために市民が現在利用している施設を廃止する方針に反対。
- ・十分な議論がされないままに進められる再整備方針に反対。
- ・老朽化が進んだ施設のリニューアルには賛成。

イ 基本方針（素案）の策定過程・素案の周知方法について【94件】

- ・市民の声を聞かずに基本方針（素案）が策定されている。
- ・基本方針（素案）の周知が十分でない。

②再整備の背景について（王子公園の位置と歴史・現況・施設概要及び課題）【23件】

- ・施設の老朽化という課題に対し、大学を誘致するという再整備方針が合致していない
- ・施設が老朽化しているという状況は理解できる。

③再整備の意義について【55件】

- ・「まちの質・くらしの質を一層高める」という再整備の意義に対し、市民が利用している施設を廃止することが矛盾している。
- ・市民のことを考えていない方針であると感じる。

④再整備のコンセプトと基本的な方向性、ゾーニングについて【153件】

- ・コンセプトの意味が理解できない。
- ・王子公園周辺の景観を維持してほしい。

⑤再整備による各施設の扱いについて

ア 大学について【1,102件】

- ・少子化の時代に大学誘致は疑問。
- ・大学を誘致する目的効果が不明。
- ・動物園を拡張充実させるべきで大学誘致は不要。
- ・獣医学部など、動物園との連携が図ることのできる大学が望ましい。
- ・レベルの高い大学であれば賛成。

イ 動物園について【729件】

- ・面積を広げるべき。
- ・面積を縮小することに反対。
- ・動物福祉に配慮したものにすべき。
- ・民営化、料金が上がることに反対。
- ・老朽化した施設のリニューアルは必要。

ウ 遊園地について【722件】

- ・小さな子どもが遊べる遊園地は少ないのでなくさないでほしい。
- ・レトロで貴重な遊戯施設を壊すことに反対。
- ・王子公園のシンボルである観覧車を残してほしい。
- ・動物園に遊戯施設はいらない。

エ 駐車場について【450件】

- ・駅前にある公園に立体駐車場は不要。
- ・公園の景観や六甲山の山並みに影響がでるため立体駐車場に反対。
- ・排気ガス、振動、騒音が動物に影響を与えるため、動物園に隣接した立体駐車場は反対。
- ・道路上の車列が解消できる規模の駐車場を整備してほしい。

オ スタジアム（陸上トラック含む）について【263件】

- ・アメフト専用競技場には反対。
- ・陸上トラックは、陸上競技を行う学生たちの練習場所になっているので、残してほしい。
- ・スタジアムからの騒音が懸念される。
- ・多目的に利用可能であれば賛成。

カ 補助競技場について【269件】

- ・ラジオ体操やジョギング・散策など多くの人が気軽に利用できる施設なので残してほしい。
- ・周りの学校の陸上部の練習場所になっているので残してほしい。
- ・災害の際に活用できるため残してほしい。
- ・土地の有効利用のため廃止はやむを得ない。

キ プールについて【426件】

- ・多くの地域住民や子供たちが利用している施設なので残してほしい。
- ・オールシーズン利用できる屋内プールにしてほしい。
- ・改修してそのままの姿で残してほしい。
- ・利用期間が短く廃止には賛成。

ク テニスコートについて【250件】

- ・よく利用されている施設なので残してほしい。
- ・改修して残してほしい。
- ・テニスコートを撤去するのであれば、代替りの施設がほしい。
- ・スタジアムの整備場所の確保のために廃止は賛成。

ケ エントランスについて【63件】

- ・エントランスは不要
- ・エントランスの芝生はメンテナンスに経費がかかるため不要。
- ・芝生広場などの憩いの空間を整備することは賛成。
- ・防災機能を充実させるべき。

コ わんぱく広場について【58件】

- ・子供たちの遊び場をなくさないでほしい。
- ・ボール遊びができる貴重な公園をなくさないでほしい。
- ・ちびっこ広場と飛び地になっており、再整備による公園拡充のためであれば廃止はやむを得ない。

サ その他の施設について【307件】

- ・桜並木は残してほしい。
- ・ちびっこ広場は、子供たちがもっと集まる遊具施設としてほしい。

⑥今後の進め方について【177件】

- ・市民の意見をもっと聞いてほしい。
- ・市民にもっと説明をしてほしい。

⑦その他のご意見【132件】

- ・子供たちのための再整備としてほしい。
- ・王子公園駅からのアクセスを強化してほしい。

2 参考資料（市民意見募集の対象資料）

王子公園 再整備基本方針（素案）＜令和3年11月公表＞ 資料1のとおり

3 その他

市民意見のとりまとめが完了した段階であり、今後の進め方については検討中である。

令和 3 年 12 月
神戸市

王子公園 再整備基本方針（素案）

1. 背景

(1) 王子公園の位置と歴史

王子公園は、本市の都心である三宮・元町の東約 3 km に位置しており、駅に近く利便性の高い貴重な空間です。この一帯はかつて「原田の森」と呼ばれ、明治中頃まで田畑が広がっていました。

1889 年（明治 22 年）に創立された関西学院を皮切りに、松蔭女子学院や神戸高等商業学校（現：神戸大学）が開校されました。また、1919 年（大正 8 年）に市電上筒井線の終点「筒井駅」が開業し、翌年には阪神急行電鉄「上筒井駅」が開業されました。

1950 年（昭和 25 年）には王子公園（19.2ha）が供用され、戦災復興と発展のため神戸博が開催されました。翌年の 1951 年には、その跡地に諏訪山動物園を継承するかたちで、現在の王子動物園が開園し、1956 年の第 11 回国民体育大会の開催にあわせてスポーツ施設が次々と整備されました。このように、王子公園一帯は、近代から高度成長期の神戸の発展に先導的な役割を果たしてきた地域です。

また、王子公園は 1995 年（平成 7 年）の阪神・淡路大震災において、災害対応機能として自衛隊や消防応援を受け入れ、物資拠点機能、住民避難機能などを備えた広域防災拠点としても大きな役割を果たしました。

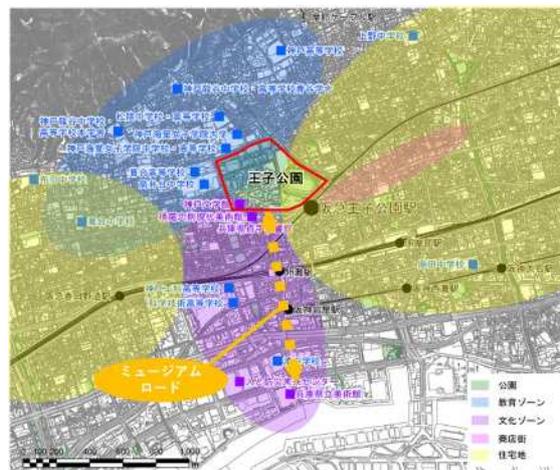
(2) 王子公園周辺の現況

阪急王子公園駅周辺は六甲山系の美しい山並みを背景とした阪神間を代表する景観が広がり、良好な住環境が形成されています。

また、文化施設や教育施設、スポーツ施設が集積する学術・文化のまちとして発展を遂げてきました。南北を貫く「ミュージアムロード」には、多くの芸術作品が設置されているほか、阪神・淡路大震災からの「文化の復興」シンボルとして、2002 年に建設された兵庫県立美術館や 2012 年に王子公園前に開館した横尾忠則美術館などもあり、多くの方々が市内外から訪れる文教エリアとして魅力的な地域となっています。



【1915 年（大正 4 年）頃の原田の森】



【土地利用状況図】

(3) 王子公園の施設概要及び課題

面積：約 1.0 ha
設置：1978 年

面積：約 1.1 ha
設置：1956 年

面積：約 1.0 ha
設置：1960 年

面積：約 8.1 ha
設置：1951 年

面積：約 2.6 ha
設置：1956 年

その他施設	②	③	④	⑤	⑦
	ちびっこ広場	弓道場	わんぱく広場	北獣舎(動物園)	旧ハンター住宅
	⑧	⑨	⑩	⑬	⑯
	補助競技場	相撲場	神戸登山研修所	神戸文学館	原田児童館

(課題)

■施設の老朽化・陳腐化

- ・ 供用後 70 年が経過した施設もあるなど、老朽化が顕著である。
- ・ 公園内にベンチや健康遊具などが不足しており、くつろげる空間が少ない。
- ・ 動物園の展示方法が陳腐化している。

■交通至便な駅前の立地特性を活かせていない

- ・ 駅に近い南東部のオープンスペースの大部分が駐車場で占められている。
- ・ 日本陸上競技連盟の公認を除外された陸上トラックや利用期間に限られる屋外プールが存在する。

2. 再整備の意義

神戸が目指す都市像を実現するために策定した『神戸 2025 ビジョン (令和 3 年 4 月)』では、「海と山が育むグローバル貢献都市」を新たなテーマとし、神戸が有する豊かな自然環境や開港以来育まれてきた国際性、多様性といった強みを磨き、それらを活かしたまちづくりを進めていきます。また、まちの質・くらしの質を一層高めることで、住み心地の良いまちを実現し、市民一人ひとりが心豊かに幸せを実感できる生活を享受するとともに、将来を担う若者が輝き、活躍できる社会の形成を目指しています。

王子公園周辺は、山から海まで繋がる美しい景観が広がり、歴史や文化が薫るポテンシャルが極めて高い地域であり、このたび新たに大学を誘致することで阪神間を代表する学術・文化の拠点を形成し、我が国の成長・発展を担う人材の育成やグローバル貢献都市の実現を牽引していきます。

あわせて、王子動物園のリニューアルやスポーツ施設の再編・機能強化を図るなど、交通至便な駅前の立地特性を活かしながら集客力や魅力を高め、周辺一帯の活性化とブランド力の向上を推進していきます。

3. 再整備コンセプトと基本的な方向性

(1) 再整備コンセプト

『グローバル貢献都市を先導する学術・文化・スポーツ拠点の形成』

(2) 基本的な方向性

① 学術・文化拠点のシンボルの創出

- ・神戸の国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致する。
- ・六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出する。

② 抜本的な公園のリニューアルによる集客力や魅力の向上

- ・交通至便な駅前の立地特性を活かした魅力ある都市型動物園へリニューアルする。
- ・関西アメリカンフットボールの聖地として新スタジアムを整備し、広域からの集客力を高めるスポーツ拠点とする。
- ・公園のエントランスに芝生広場などの居心地が良く、憩い・くつろげる空間を整備する。

③ 広域防災拠点としての機能強化

- ・新スタジアムやエントランスゾーンなどを活用した、災害時の物資の集積や救援活動など防災機能の強化を図る。

(3) ゾーニング

ゾーニング及びその考え方を以下のとおり示します。

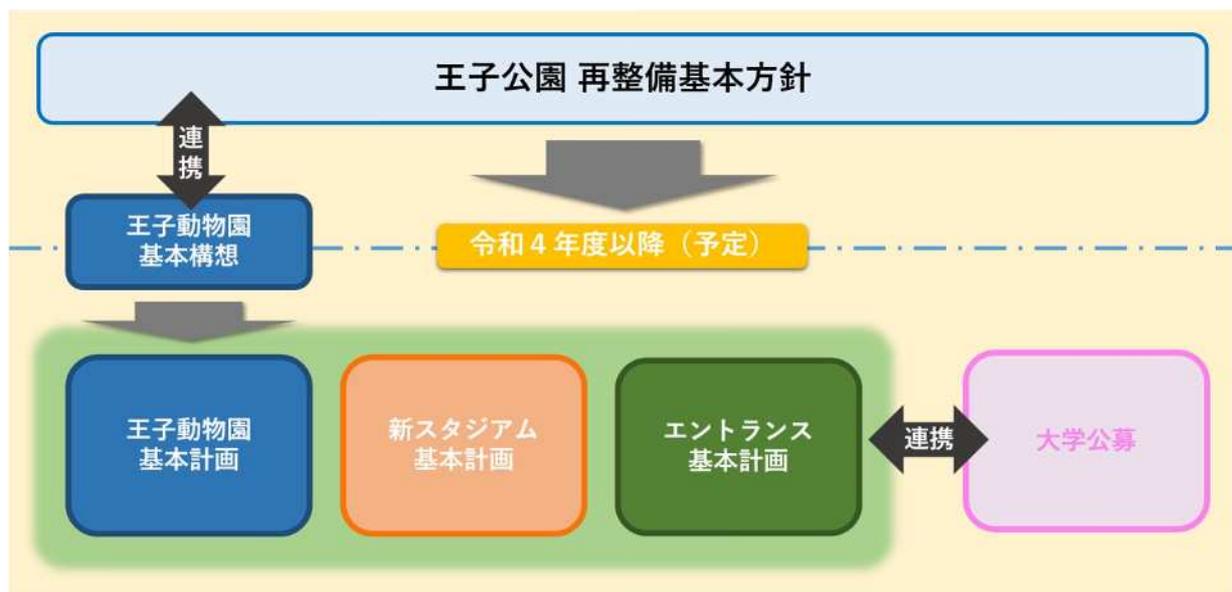


(参考) 再整備による各施設の扱い



これらにより廃止・縮小する機能については、出来る限り従前の機能を補完できるよう、今後検討を行います。
また、存続するものについても、必要な見直しを検討していきます。

4. 今後の進め方



「王子公園再整備基本方針(素案)」は、再整備に向けたゾーニングなどを示すものであり、具体的な各施設の整備内容やデザイン等については、これをもとに、今後、動物園や新スタジアム、エントランスの基本計画の策定を進めるなかで検討を深めていきます。